

清里から「生きた音楽」発信

ピアニスト
田崎悦子さん

北杜市在住の世界的ピアニスト田崎悦子さんは八ヶ岳から全国へ「生きた音楽」を発信している。自ら音楽総監督を務め、清里で一週間にわたり開催するピアノセミナー「Joy of Music in (JOM) in 八ヶ岳」は今年で五回目を迎える。「これまで培ってきた経験を伝えたい」。生徒とともに豊かな自然の中で笑い、泣き、語らう…。技術だけではなく、想像力と感受性、表現力をたくましくする時間は、田崎さんの音楽に対するパッションに満ちている。

〈山本 久美子〉

「楽譜は日記と同じなんです。作曲家たちは何かに心を動かされたとき、その気持ちを言葉の代わりに音で表現した。それを後世に受け継いだ私たちが音にするとき、音符をなぞるだけでは感情の表現である音は何の役割も果たせないで死んでしまふ。音符の裏に秘められた感動を読み取ることが大事なんです」

毎春、清里高原ハイランドホテルを会場に開かれる「JOM」には、十五歳から三十歳までのピアニストを志す人ら十二人が集う。聴衆を前に公開レッスンが始まる。田崎さんのレッスンは独特だ。

♪美しい表現

「まず心を開く。生徒たちがうまく弾かなくちゃ、という気持ちではなくしてリラックスすることが大事」。そして「この和音はどんな音に聞こえる？ 喜び？ 悲しみ？」とさまざまな質問を投げかけていく。オープンにした心で作曲家の感動を受け取り、それぞれの想像力を深め、感じたものを音に表現する



ピアノセミナー「Joy of Music in 八ヶ岳」でレッスンにあたる田崎悦子さん(右)
＝北杜・清里高原ハイランドホテル

音符の裏の心読み取る 想像力と感受性を育成

「JOM」はあす開幕

「Joy of Music 2006 in 八ヶ岳」は26日から4月2日まで。▷オープニングコンサート 26日午後3時▷リスニング・ワークショップ 27日-4月2日午前10時10分(29日休講)▷ピアノセミナー 27-31日午後2時(29日休講)▷ファイナルコンサート 4月1日午後3時=会場はいずれも北杜・清里高原ハイランドホテル。聴講の申し込み、問い合わせは同ホテル、電話0551(48)3255。

♪喜び味わう

今、音楽を学ぶ人に欠けているのは「自然との触れ合い、衣食住とのかわり、心と心の触れ合い」と指摘する。セミナーでは豊かな自然に触れ、おいしい食事を味わい、食後のデイス

「上手に弾けても何を表現しているのか分からない。日本人は高度経済成長の中で心を置き去りにしてきてしまったんです。コンクールでの競い合いばかりで、元々の音楽をする理由がなくなっているのではないか」。帰国後も感じた疑問がセミナー開講へと駆り立てた。



たざき・えつこさん 東京生まれ。ジュリアード音楽院留学後、30年間アメリカを拠点に活動。ショルティ、サヴァリッシュ、小沢征爾さんらが率いる世界のオーケストラと協演を重ね、アメリカ建国200年祭でアメリカを代表する10人の若手ピアニストの1人に選ばれた。桐朋学園大・同大学院特任教授。北杜市高根町。

北杜市高根町に移り住んだのは十二年前。静かな田園風景の一角にある自宅の窓からは、南に甲斐駒ヶ岳、鳳凰三山、富士山、北に八ヶ岳の眺望が広がる。「毎日、いい所だねって言うてるんです。こんな美しい風景をもっと多くの人に見てもらいたい」。セミナーにより多くの人に足を運んでもらい将来は国際的な学校へ。田崎さんの夢もまた、八ヶ岳の地で膨らんでいる。